

参加費  
無料

入場先着順

十分な席数を確保して  
おりますが、当日の  
参加状況によっては  
ご参加いただけない  
場合がございます。

学ぼう!

こどもの皮膚疾患  
市民公開講座

in みなとみらい

～アトピー性皮膚炎と乾癬～

2023年7月30日(日)

開場14:30 講演15:00～16:00

パシフィコ横浜 会議センター 4階 411

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

講演1

15:00-15:30

小児アトピー性皮膚炎の  
スキンケア

座長

相原 雄幸 先生

相原アレルギー科・  
小児科クリニック 院長

演者

馬場 直子 先生

神奈川県立こども医療センター  
皮膚科部長

講演2

15:30-16:00

## こどもの乾癬について

座長

蒲原 毅 先生

横浜市立市民病院 皮膚科部長

演者

山口 由衣 先生

横浜市立大学大学院医学研究科  
環境免疫病態皮膚科学 教授お問い合わせ先：マルホ株式会社 横浜支店  
045-473-8971(平日9:30-17:00)

## アトピー性皮膚炎とは?

アトピー性皮膚炎とは、良くなったり悪くなったりをくり返す、かゆみのある湿疹を主な症状とする皮膚の病気です。

アトピーのみかた



## 乾癬とは?

乾癬(かんせん)は、皮膚が少し盛り上がった赤い発疹(ほっしん)の上に、銀白色のフケのようなものがくっつき、ポロポロとはがれ落ちる皮膚の病気です。

乾癬.com



## 講演1

# 小児アトピー性皮膚炎のスキンケア

演者 **馬場 直子 先生** 神奈川県立こども医療センター 皮膚科部長

アトピー性皮膚炎は生まれつき皮膚が乾燥しやすくバリアとしての機能が弱い性質に加えて、生活習慣や様々な環境因子が加わって発症する皮膚の炎症です。痒みが強いために、夜間の睡眠が妨げられると発育や成長にも影響し、また日中も痒みのために何にも集中できないことが長く続くと発達や性格にも影響することもあります。また、乳児期から皮膚炎が続いていると、バリア機能の弱った皮膚から食物やダニ・ホコリなどの抗原が侵入して、その後食物アレルギーや喘息、鼻炎などを発症しやすくなることも知られています。それを防ぐためには、乳幼児期からの保湿剤による適切なスキンケアと、かゆみや炎症を抑える塗り薬を毎日正しい方法で塗ることが何より大切です。アトピー性皮膚炎がなぜ起こり、どう治療したらよいか、また再発させないためにはどの様にしたらよいか、日頃のケアのポイントについてお話したいと思います。



## 講演2

# こどもの乾癬について

演者 **山口 由衣 先生** 横浜市立大学大学院医学研究科 環境免疫病態皮膚科学 教授

乾癬(かんせん)は、表面にガサガサした厚いフケを伴う境界明瞭な赤い発疹が、頭、背中、肘、膝、爪など全身にできる慢性の皮膚の病気です。「かんせん」という名前から、「感染」と誤解されることがありますが、人にうつる病気ではありません。一般的に成人で発症することが多いですが、こどもでも一定数発症し、実際には見逃されているケースが多いと言われております。また、乾癬患者さんの一部では、関節炎を併発してくることもあるので、適切な診断と加療が重要です。そこで、こどもでも起こりうる乾癬の特徴や、選択肢が増えつつある治療薬について、お話したいと思います。



## Access

### みなとみらい駅より徒歩5分

(みなとみらい線(東急東横線・副都心線直通))  
「クィーンズスクエア連絡口」より  
クィーンズスクエア2F通路へお進みください。

### エスカレーターをご利用の場合

「クィーンズスクエア横浜」のB3Fより2Fまで上がります。(左手奥にある「長い赤のエスカレーター」と「短いエスカレーター」の2本を乗り継ぎます)メイン通路を左手に進み、陸橋(クィーンモール橋)を渡ります。

### 桜木町駅より徒歩12分、

### バスで11分、タクシーで5分

(JR京浜東北線・横浜市営地下鉄)

動く歩道をご利用ください。

雨にぬれずにアクセスできます。

みなとみらい方面に進み「動く歩道」を利用します。そのままショッピングモール「ランドマークプラザ」(3F)、「クィーンズスクエア」(2F)を通り抜け、陸橋(クィーンモール橋)を渡ります。(12分)

※雨天時は1Fを通ると雨にぬれません。

